

あがつま



「兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。」

(ローマの信徒への手紙 12章1節)

♪ 讚美歌を歌おう③ 『夜を守る友よ』

(讚美歌 18番)

イザヤ書 21章 11節に基づいた賛美歌で、暗い世界を照らす光を待ち望む思いが、静かに歌われる名曲です。

イギリスの実業家、政治家であり、外交官として香港の第4代総督を務めた、ジョン・バウリング (1792-1872) の作です。ユニテリアン主義 (三位一体の教理を否定する立場の総称で、イギリスでは1800年代初頭まで、ユニテリアン信仰の布教は違法とされていた。) の学校に学んだジョンは、一時はユニテリアンの牧師となることを希望していました。貿易商社の事務員として働く中で、様々な言語を身につけたジョンは、1818年に独立し、貿易商社バウリング社を起ち上げます。この時期に彼は、

88もの賛美歌を発表しており、『夜を守る友よ』もその中の1つです。

ギリシャ独立戦争の影響で事業に行き詰まったジョンは、政治経済学者として活動を始め、頭角を現していきました。そして下院議員となると、女性の平等な権利と奴隷制の廃止を主張し、自由貿易、国境の開放、死刑の廃止などについても議会で訴えました。

この賛美歌の旋律は、1600を超える賛美歌を作曲し、米国の賛美歌の父とも呼ばれるローウェン・メイソン (1792-1872) の手によるものです。

各節で前半の問いかけに、後半が応答するユニークな形式をしていますので、2つのグループに分かれて、交互に歌い交わしてみても楽しそうな賛美歌です。



